

声楽 アドバイザー



大貫 裕子(ソプラノ)

鹿沼市出身。宇都宮短大附属高校音楽科卒業。東京藝術大学卒業。ウィーン市立音楽院3年間留学。

第6回ニコ・ドスタル国際オペレッタコンクール(オーストリアにて開催)第三位。

第1回コンセール・マロニエ21声楽部門第一位。

ウィーン留学中、ベルギーBRT放送局の招聘で、アントワープ歌劇場にてオペラデビュー。

ルーマニア国立ヤシ歌劇場にて「リゴレッタ」ジルダ、「仮面舞踏会」オスカル、「愛の妙薬」アディーナ、「椿姫」ヴィオレッタに客演。

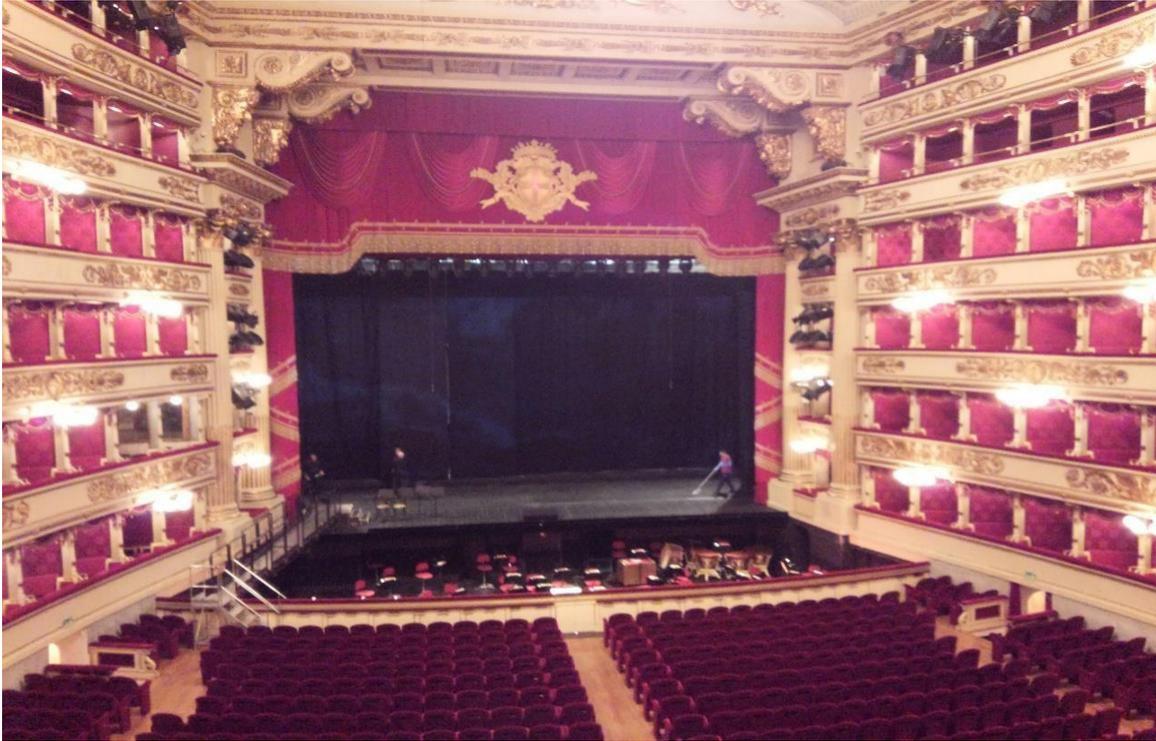
日本国内でもジルダ、アディーナ、ヴィオレッタの他、「ラ・ボエーム」ミミ、「ジャンニ・スキッキ」ラウレッタ、「トゥーランドット」リュウ、「つばめ」(本邦初演)リゼット、「こうもり」アデーレ、「魔笛」パミーナ、「コジ・ファン・トゥッテ」デスピーナ/フィオルディリージ、「フィガロの結婚」スザンナ、「劇場支配人」シルバークランク、「カルメン」(日生劇場主催他)ミカエラ、「マダム・バタフライ」タイトルロール、「カルメル会修道女の対話」コンスタンス(藤原歌劇団)「ファルスタッフ」アリーチェ(IFAC、藤原歌劇団)「ドン・ジョヴァンニ」ゼルリーナ(IFAC)等に出演。日本オペラにおいても「那須与一」鶴富姫、「御柱」(初演)ヤサカ、「水の声」(初演)咲、「日光」(栃木県主催新作オペラ)リサ/ジェシーバード、「キジムナー時を翔ける」ミキ、「美女と野獣」絹、「みづち」八重、「ミスターシンデレラ」伊集院薫、「青空を射つ男」いずみ、「照手姫」タイトルロール、別宮貞雄作曲「三人の女達の物語」力強き女、「葵の上」タイトルロール、「幸せのパゴダ」ひばり(徳島国民文化祭 初演)、「ひかりのゆりかご」静/女性(初演)、永井荷風脚本「葛飾情話」お梅、「ヤマタノオロチ」クシナダヒメ等、常に主役を演じている。特に團伊玖磨作曲「夕鶴」つう役で、新国立劇場、日本オペラ協会、文化庁主催公演等で首都圏をはじめ全国各地で多数出演。

NHK・FM「名曲リサイタル」に出演。その他「第九」「レクイエム」「メサイア」「マーラー交響曲第4番」「カルミナ・ブラーナ」等のソリスト、各地でのコンサートで活躍中。

藤原歌劇団団員、日本オペラ協会、東京室内歌劇場会員。ヴェルデ会代表。

とちぎ未来大使。かめま特使。宇都宮短期大学音楽科客員教授・同附属高校音楽科講師。

大ホールでの演奏のコツ



1. はじめの一步

ステージの袖(ソデ)からステージに出ていく時に、まず大きく深呼吸してみましよう。そして、行くぞ！と心を定めて、客席側ではない足からステージに踏み出します。多くのホールは、客席から見たらステージの左側の下手(シモテ)から出て行きます。その場合、左足から登場すると体を大きく見せることができます。そしてそのことを考えるということは、ある程度冷静でいなければならないので、演奏前に落ち着くことが出来るでしょう。もし、反対の足から出てしまったとしたら、「ああ、もう思い通りにいかなかったのだから、後は大丈夫だな」と思えます。

2. お辞儀

大きなホールで歌手一人の場合、ピアノのくぼみのところに体がはまる場所から一步前くらいのところで、しっかり胸を張って、観客に対してはもちろんホールに対しても、どうぞよろしくという気持ちでお辞儀をしてみましよう。

3. 歌う前に

お辞儀が終わって、ピアニストが椅子の高さや楽譜を譜面台に準備している間に、息を吸いながらホールの空間をしっかりと感じてみましょう。両手を広げてホール全体を自分の体の中に取り込む感覚です。(実際には両手は広げません!)その時に、ホールのどこに向かって声を出すべきなのか考えて、中心の点を決めて、そこに目線を定めます。

4. さあ、歌うためのブレスを

歌う準備が整ったら、ピアニストに演奏を始める合図を送ります。そして、ホールの空間を感じつつ歌のブレスをして歌い始めます。遠くに定めた目線のところに声を届かすつもりで。しかし、あまり力まずに、声を特に飛ばすようにして、普段の練習よりも自分の声が響くことを楽しんでください。

5. ホールと友達に

演奏が始まったら、ホールの響きを感じ、ホールと仲良くなってどんどん広い空間に声を送りましょう。声は体を通して出ていくので、足の裏からエネルギーを吸い上げ、頭から声を出すような感覚を持つと良いでしょう。



6. なりきる

歌と楽器の演奏の大きな違いは、何よりも歌詞を持っていること。その歌詞をより伝えられるよう、オペラの役や詩の世界観を表現するためなりきることも大切です。何か物を持ち上げるときも伯爵夫人と農婦だと違う仕草になるはずです。表現のために考えるべきことは沢山あります。普段の練習でしっかり考えて、ホールでは大きく表現してみましょう。ステージに立っているあなたは今、どこにいる誰として歌っているのでしょうか？

7. ステージで歌っているあなたが主役

ステージで演奏をしている間に限れば、世界中の誰よりもあなたが主役です。堂々と自分の練習してきたことを信じ、自分に与えられた瞬間を心から楽しんで、大ホールに声を響かせてください。



2018年8月新国立劇場 オペラパレス「夕鶴」つう役

メッセージ

声楽という字は、声を楽しむと書きます。また、息という字は自分の心と書きます。嬉しい時、悲しい時、怒っている時、それぞれのブレスは違うはずです。歪み無く息が吐けるように歌うための身体づくりをし、自分の声を楽しんで心を息に乗せてください。また歌詞を表現するために、言葉に対して敏感でいられるよう語学にも触れてみましょう。